



練馬区立石神井東小学校

令和5年度

学校便り

臨時号



校長 武井 和幸

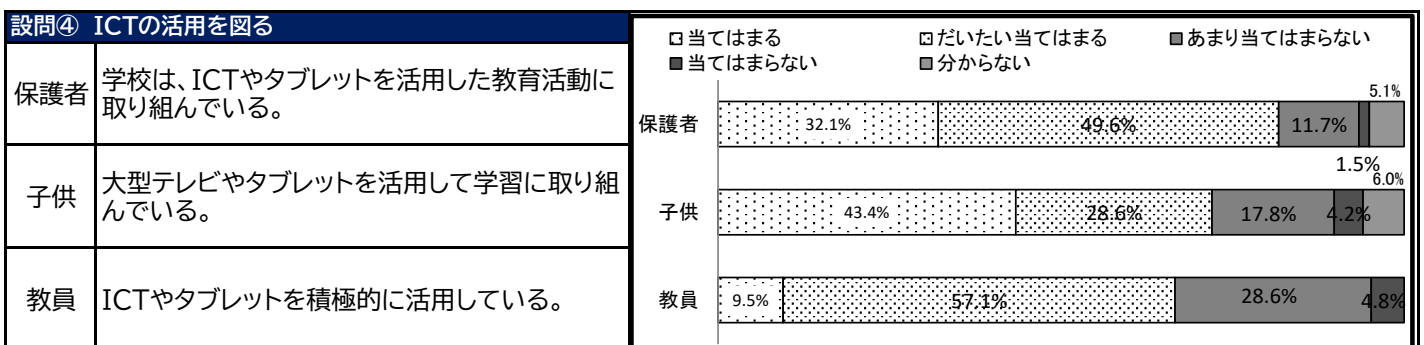
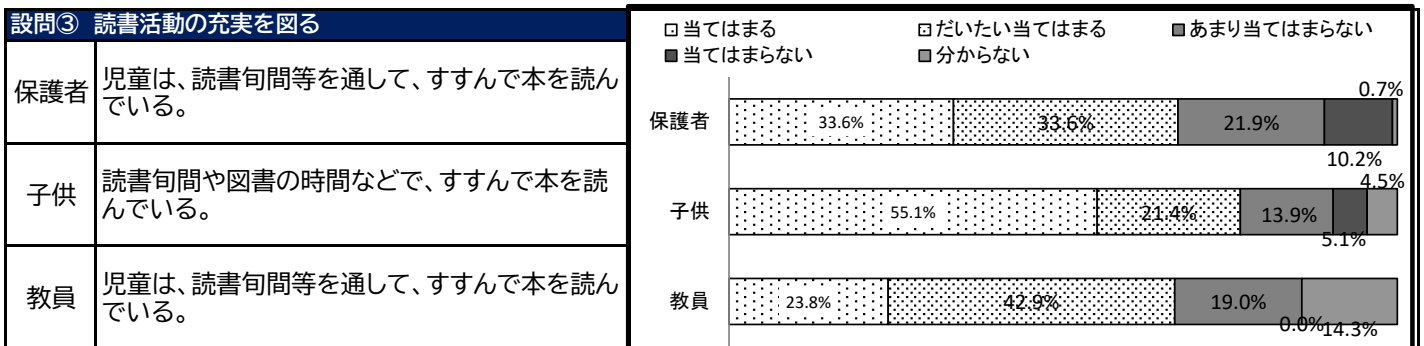
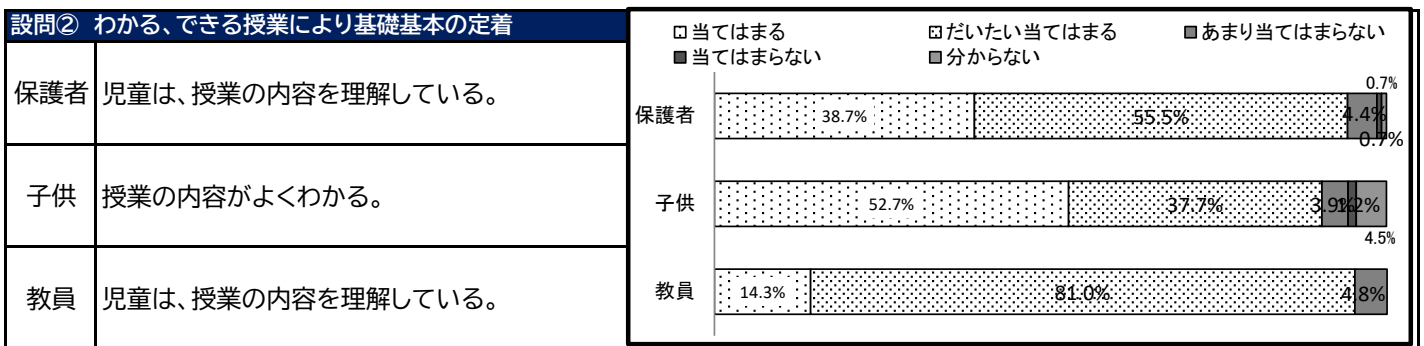
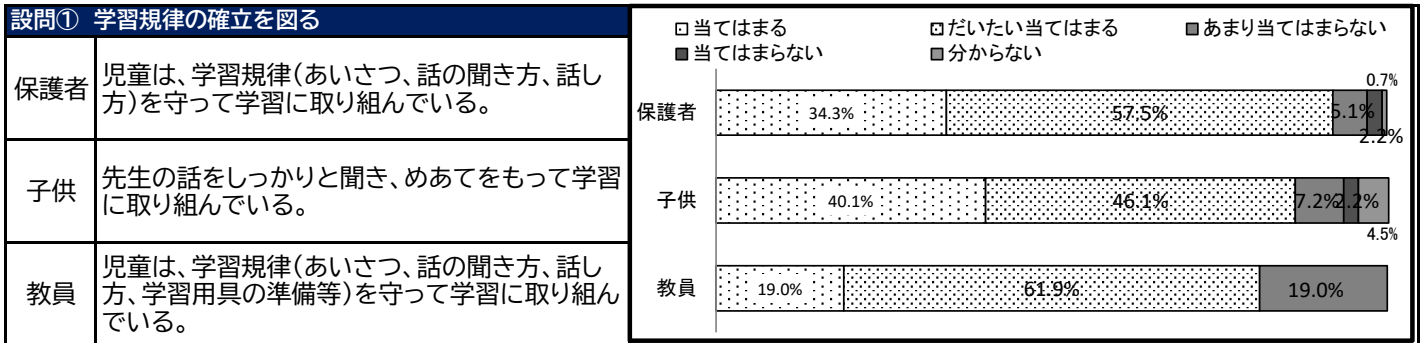
学校HP

令和5年度 石神井東小学校教育活動におけるアンケート結果

アンケートへのご協力をありがとうございました。集計の結果は、以下の通りとなりました。(回答数 保護者137 子供332 教員 21)
いただいた意見を基にして、教職員、学校評議員会で話し合い、検討させていただきました。令和6年度の教育に生かしてまいります。

【児童が元気に通える学校】

◆児童が学習に興味関心をもち、基礎・基本の定着を図る。



設問⑤ 家庭学習を推進する		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	□あまり当てはまらない
保護者	児童は、家庭学習をすすんで行っている。	26.3%	42.3%	24.1%
子供	家庭学習(宿題など)をきちんと行っている。	63.9%	25.6%	6.6%
教員	児童は、家庭学習をすすんで行っている。	9.5%	38.1%	28.6%
			0.0%	23.8%
				7.3%
				3.0%
				0.9%

・読書に関しては、保護者、子供、教員の肯定的評価が80%を下回っています。今年度、6年生の全国調査では、家庭で1時間以上読書をしている割合が東京都よりも高い数値になっていました。ただ、全く読書をしていない子供も22%いました。学校では、読書旬間等の取組で先生の紹介する本を示して読書に関心をもたせていますが、来年度もさらに充実させていきます。

・ICTに関しては、昨年度よりも肯定的評価が高まっていますが、教員の肯定的評価が80%を下回っています。今、学年発達段階に応じて、積極的にタブレットを使用する機会を増やしています。タブレットの持ち帰りをしますので、ご家庭でもタブレットを使用できるようにしていきます。学校評議員からは、情報モラルの大切さについても意見が出ました。

・家庭学習に関しては保護者と教員の肯定的評価が80%を下回っています。学年×10分を目標に取り組みさせて学習内容の習熟を図らせていきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

◆豊かな人間性を育てる。

設問⑥		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	□あまり当てはまらない
保護者	児童は、楽しく元気に登校している。	58.4%	36.5%	2.9%
子供	毎日学校に行くのが楽しい。	52.7%	29.2%	8.7%
教員	児童は、楽しく元気に登校している。	38.1%	52.4%	9.5%
				2.2%
				4.2%

設問⑦ 人権教育の推進を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	□あまり当てはまらない
保護者	児童は、自分や友達のよさを知り、大切にしようとしている。	53.3%	40.9%	3.6%
子供	友達のよいところをすすんで見つけようとしている。	41.0%	33.4%	12.7%
教員	児童は、自分や友達のよさを知り、大切にしようとしている。	19.0%	57.1%	23.8%
				0.0%
				1.5%
				8.7%

設問⑧ 挨拶の定着を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	□あまり当てはまらない
保護者	児童は、「誰にでも、すすんで」挨拶している。	21.2%	40.9%	32.8%
子供	先生や友達、近所の人に元気よくあいさつをしている。	52.4%	31.9%	8.4%
教員	児童は「誰にでも、すすんで」挨拶している。	9.5%	23.8%	57.1%
				9.5%
				2.2%
				2.9%

設問⑨ いじめ、不登校について組織的に取り組む		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	□あまり当てはまらない
保護者	児童は、いじめはいけないことだと理解し、相手の気持ちを考えて行動している。	51.1%	43.8%	4.4%
子供	「いじめをしない、させない」を実行し、友達の気持ちを考えて行動している。	51.5%	33.4%	6.3%
教員	児童は、いじめはいけないことだと理解し、相手の気持ちを考えて行動している。	19.0%	47.6%	33.3%
				0.0%
				7.5%
				1.2%

設問⑩ 小中一貫教育の充実を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない	
保護者	小中一貫教育(石神井東中学校)の取組が伝わっている。	5.1%	39.4%	29.2%	16.1%
子供	今、学習していることが、これからの学習に必要と思っている。	10.2%	59.3%	26.9%	6.3%
教員	小中一貫教育(石神井東中学校)の取組を理解し、すすめている。	14.3%	57.1%	19.0%	9.5%

・元気に登校している子供の評価は80%を超えてはいますが、中には学校が楽しくないと捉えている子供もいます。一人一人の原因を考え、対応してまいります。

・挨拶に関しては、保護者と教員の肯定的評価が80%を下回っています。今年度「挨拶あふれる石東小」というキャッチフレーズを設定して子供達にも機会をみて指導して参りました。また、代表委員会のあいさつ運動を定期的に行いました。しかし、まだ挨拶の定着には至っていない現状です。職員が率先して挨拶をしていきますが、保護者の皆様の声掛けや挨拶も有効です。よろしくお願ひいたします。学校評議員の方からも挨拶の必要性を伝えていくことが大切であると意見が出ました。

・小中一貫教育に関しては、保護者と教員の肯定的評価が80%を下回っています。今年度、中学校の演劇部による観劇が実施できました。これから中学校の教員による英語授業と部活動体験の実施予定です。今後も中学校と連携について皆様に伝えるように努力してまいります。

◆体力の向上を図る。

設問⑪ 健康な体への意識向上と体力向上を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない	
保護者	児童は、すすんで外遊びをしたり、運動をしたりしている。	39.4%	32.1%	24.1%	0.0%
子供	すすんで外遊びや運動をしている。	60.8%	18.7%	11.1%	3.3%
教員	児童は、すすんで外遊びや運動に取り組んでいる。	9.5%	57.1%	23.8%	9.5%

設問⑫ 早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を定着させる		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない	
保護者	児童は、生活リズム(早寝・早起き・朝ごはん)を意識して生活している。	38.0%	50.4%	8.8%	2.9%
子供	早寝・早起きの習慣がついている。	39.2%	29.8%	17.8%	7.5%
教員	児童に、生活リズム(早寝・早起き・朝ごはん)を意識させている。	4.8%	42.9%	28.6%	23.8%

設問⑬ 食育への関心をもたせる		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない	
保護者	食育への関心をもたせ、好き嫌いせずに給食を食べている。	40.9%	40.9%	11.7%	2.9%
子供	食事のマナーを守り、好き嫌いせずに給食を食べている。	54.5%	26.5%	12.3%	4.2%
教員	食育指導を通して、児童に食の大切さを意識させている。	4.8%	61.9%	4.8%	9.5%

設問⑭ 保健指導や安全指導を推進する		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	学校は、保健指導や安全教育に努めている。	42.3%	44.5%	8.0%
子供	自分の健康や安全に気を付けて学校生活を送っている。	62.0%	26.8%	3.6%
教員	保健指導や安全教育に努めている。	14.3%	81.0%	4.8%

・体力向上に関しては、保護者の肯定的評価が80%を下回っています。体力向上のため、なわとび月間や持久走旬間等の取組を行ってきました。また、体育の授業では校内で授業研究を進めてきました。今後も子供達が運動ができたという喜びが味わえるように指導していきます。

・早寝・早起きに関しては、子供たちの肯定的評価が80%を下回っています。ゲームなどをしていて、夜寝るのが遅くなっている子もいると考えられるので、ゲームやスマートフォンの使い方などを保護者と一緒に考えられるようにしていきたいです。

【保護者や地域から信頼される学校】

◆情報の積極的な発信

設問⑮ 学校公開、行事等の保護者の参観		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	学校は学校公開や行事などを通して、開かれた学校づくりをしている。	57.7%	39.4%	0.7%
教員	学校は学校公開や行事などを通して、開かれた学校づくりをしている。	47.6%	52.4%	

設問⑯ 学校だより、学年だよりやHP等での発信を行う		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	学校は、各種お知らせやHPを通して、教育方針や教育活動を伝えている。	43.8%	51.1%	3.2%
教員	各種お知らせやHPを通して、教育方針や教育活動を伝えている。	23.8%	71.4%	4.8%

◆相談体制の構築

設問⑰ スクールカウンセラー、心のふれあい相談員との連携を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	学校は、児童や保護者の相談を受け入れる体制ができている。	39.4%	40.9%	5.1%
子供	困ったことがあった場合には、担任やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員に話すことができる。	35.2%	22.6%	18.4%
教員	児童や保護者の相談を受け入れる体制ができている。	42.9%	52.4%	4.8%

設問⑱ ふたばルームとの連携を図る		□当てはまる ■当てはまらない	□だいたい当てはまる ■分からない	■あまり当てはまらない
保護者	ふたばルームの利用や指導内容について知っている。	19.0%	27.7%	24.1%
教員	ふたばルームと連携し、児童の指導に役立てている。	66.7%	33.3%	0.0%

・相談体制に関しては、子供たちの肯定的評価が80%を下回っています。子供によっては、相談室に気軽に行く子もいれば、行ったことがない子供も多いです。心のふれあい相談員が教室に回って子供たちに顔を覚えてもらうことも行っています。今後も継続していきます。

・ふたばルームに関しては、昨年度よりも保護者の肯定的評価は上がっていますが、まだ80%を下回っています。ふたばルームを利用している子供の保護者は知っていることでも、他の保護者にとっては分からないことが多いのが事実です。今後も情報の発信をしていきます。

この他、自由記述欄のご意見・ご感想を記入していただきありがとうございました。貴重なご意見として参考にさせていただき、今後の教育活動に生かしてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。